

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- 朝いつも誰かの机が曲がっている
- 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- 特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある
- 学級やグループの中で絶えず周りの顔色をうかがう子どもがいる
- 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある
- 授業中、教職員に見えないようにいたずらをする
- 教職員がいないと掃除がきちんとできない
- グループ分けをすると特定の子どもが残る
- 些細なことで冷やかしたりするグループがある

いじめられている子

◎日常の行動・表情の様子

- わざとらしくはしゃいでいる
- 下を向いて視線を合わせようとしない
- 早退や一人で下校することが 増える
- 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- 友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする
- おどおど、にやにや、にたにたしている
- 顔色が悪く、元気がない
- 遅刻・欠席が多くなる
- ときどき涙ぐんでいる

◎ 授業中・休み時間

- 発言すると友だちから冷やかされる
- 班編成の時に孤立しがちである
- 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- 決められた座席と違う席に座っている
- 一人でいることが多い
- 教室へいつも遅れて入ってくる
- 教職員の近くにいたがる

◎ 昼食時

- 好きな物を他の子どもにあげる
- 食事の量が減ったり、食べなかったりする
- 教室で一人離れて食べている
- 他の子どもの机から机を少し離している
- 食べ物にいたずらされる
- 昼食時になると教室から出て行く

◎ 清掃時

- いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- 一人で離れて掃除をしている

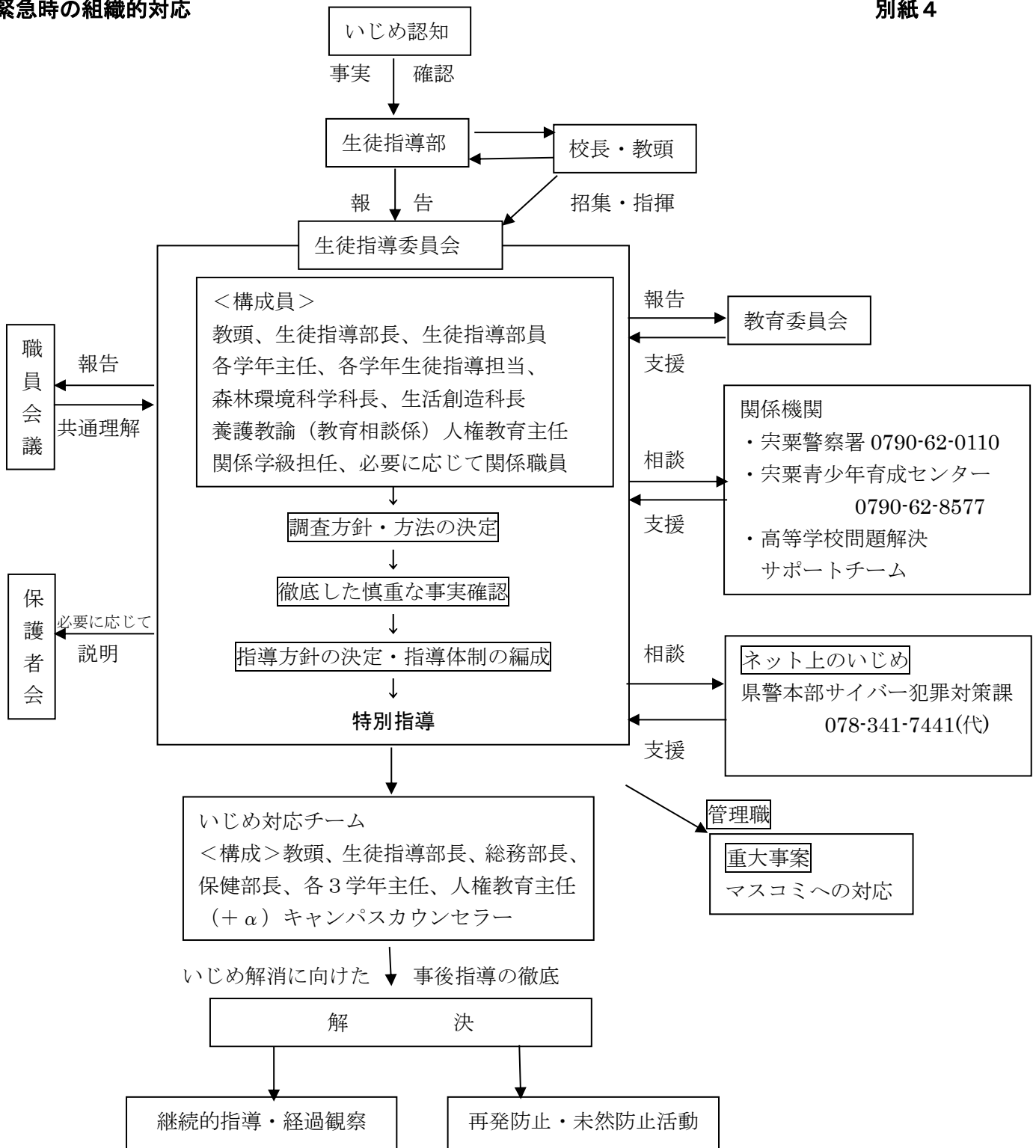
◎ その他

- トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- 持ち物が壊されたり、隠されたりする
- 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする
- 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
- 理由もなく成績が突然下がる
- 服に靴の跡がついている
- 手や足にすり傷やあざがある

いじめている子

- 多くのストレスを抱えている
- あからさまに、教職員の機嫌をとる
- 教職員によって態度を変える
- グループで行動し、他の子どもに指示を出す
- 活発に活動するが他の子どもにきつい言葉をつかう
- 教師が近づくと、集団が黙り込む
- 家や学校で悪者扱いされていると思っている
- 特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ
- 教職員の指導を素直に受け取れない
- 他の子どもに対して威嚇する表情をする
- 発言の中に差別意識が見られる
- 教師が近づくと、集団が分散する

	職員会議等	未然防止に向けた 取り組み	早期発見に向けた 取り組み	キャンパス カウンセラー 教育相談日
4月	いじめ対応チーム 指導方針・計画作成	入学前の中学校との 情報交換	→アンケート結果の報告	原則(火)開催時間 9:30~12:30 13:30~16:30
		学級づくり	個別面談	
5月	情報モラル講演会 保護者向け啓発	情報モラル講演会	いじめのアンケート①	① 5 / 2(月)
		P T A総会での周知 学年懇談会		② 5 / 24(火) ③ 5 / 31(火)
6月	事案発生時	心のサポート会議		④ 6 / 7(火)
				⑤ 6 / 14(火)
				⑥ 6 / 21(火)
				⑦ 6 / 28(火)
7月	生徒指導委員会	3年高校生ふるさと貢献事業	いじめのアンケート② いじめのアンケート(保護者向け)	⑧ 7 / 12(火)
		2年性教育講演会 学校評議委員会	→アンケート結果の報告 三者面談	
8月	職員会議	宍粟市小中高合同研修会 カウンセリングマインド研修会	Q-U検査研修会 中学校との情報交換会 夏季課題「人権作文」	
		心のサポート会議 CoCoLo-34	個別面談	⑨ 9 / 6(火) ⑩ 9 / 13(火) ⑪ 9 / 20(火) ⑫ 9 / 26(月)
10月	職員会議	「いじめ未然防止プログラム」	いじめのアンケート③	⑬ 10 / 4(火)
		インターンシップ	Q-U検査	⑭ 10 / 11(火)
		人権学習(映画)	1年薬物乱用講演会	⑮ 10 / 25(火)
11月	職員会議	「いじめ未然防止プログラム」		⑯ 11 / 1(火)
		インターンシップ		⑰ 11 / 8(火)
				⑱ 11 / 15(火)
				⑲ 11 / 22(火) ⑳ 11 / 29(火)
12月	職員会議	2年ふるさと貢献事業	いじめのアンケート④	㉑ 12 / 5(火)
		3年献血講演会 「いじめ未然防止プログラム」	アンケート結果の報告 三者面談	
1月	職員会議		Q-U検査研修会 いじめのアンケート⑤3年	㉒ 1 / 24(火)
2月	職員会議	学校評価での取組状況の見直し		㉓ 2 / 7(火)
				㉔ 未定
3月	いじめ対応チーム 本年度のまとめ	情報モラル講演会	いじめのアンケート⑤1・2年	
		1年ふるさと貢献事業 カウンセリングマインド研修	アンケート結果の報告	



- ◇被害者やいじめを知らせてくれた生徒等に十分配慮し、慎重に事実確認をする。
 - ・いじめを発見した時は、ただちに学年団を中心に複数で加害者、被害者の双方から事実関係を聞き取り、聞き取った内容については周辺生徒からも状況を聞き取る。
 - ・必要に応じて、全校あるいは当該学年に対してアンケートを実施する場合もある。
- ◇双方の保護者に対して、お互いに誤解が生じないように十分に説明をする。
- ◇双方の保護者に対して関係職員を交えて、生徒同士の関係改善を促す。
- ◇学校全体、学年や学級内などの傍観者への指導も併せて行う。